



平成26年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 紀陽銀行(旧株式会社 紀陽ホールディングス)

コード番号 8370 URL <http://www.kivobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 片山 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 教秀

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 平成25年11月25日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期中間期	39,006	△1.8	8,738	19.2	6,563	62.3
25年3月期中間期	39,740	△10.3	7,331	△5.7	4,044	△28.2

(注) 包括利益 26年3月期中間期 7,811百万円 (17.9%) 25年3月期中間期 6,623百万円 (△54.5%)

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円 銭		円 銭	
26年3月期中間期	8.98		7.96	
25年3月期中間期	5.48		4.06	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期中間期	3,920,594		178,287		4.5	
25年3月期	3,927,469		190,604		4.8	

(参考) 自己資本 26年3月期中間期 175,563百万円 25年3月期 188,185百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日に当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とし、当社を消滅会社とする吸収合併を実施いたしましたので、平成26年3月期(予想)配当については、株式会社紀陽銀行による予想配当額を記載しております。

なお、当該合併におきまして、当社株式10株につき紀陽銀行株式1株を割り当ていたしました。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	75,200	△13.8	11,500	△57.8	8,200	△54.8	—	112.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日に当社子会社である株式会社紀陽銀行を存続会社とし、当社を消滅会社とする吸収合併を実施いたしましたので、平成26年3月期の連結業績予想については、株式会社紀陽銀行の連結業績予想を記載しております。

なお、1株当たり当期純利益の予想にあたっては、当該合併において当社株式10株につき紀陽銀行株式1株を割り当てたことを勘案しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期中間期	745,017,053 株	25年3月期	745,017,053 株
② 期末自己株式数	26年3月期中間期	13,490,569 株	25年3月期	14,650,748 株
③ 期中平均株式数(中間期)	26年3月期中間期	730,988,925 株	25年3月期中間期	738,606,301 株

(個別業績の概要)

平成26年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期中間期	3,200	△7.1	2,945	△8.5	2,951	△8.4	5,034	12.4
25年3月期中間期	3,447	△0.9	3,219	0.6	3,219	0.5	4,477	39.8

	1株当たり中間純利益	
	円	銭
26年3月期中間期	6.89	
25年3月期中間期	6.06	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期中間期	106,297		106,018		106,018	99.7
25年3月期	121,834		121,370		121,370	99.6

(参考) 自己資本 26年3月期中間期 106,018百万円 25年3月期 121,370百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・四半期報告書提出予定日は、株式会社紀陽銀行の半期報告書提出予定日を記載しております。

【添付資料】

[目次]

1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 中間連結財務諸表	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
3. 中間財務諸表	9
(1) 中間貸借対照表	9
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13

※平成26年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期のわが国経済は、海外景気の下振れを懸念しつつも輸出が持ち直し、各種政策効果の発現やデフレ脱却の兆しも垣間みられるなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、緩やかな回復に向けて着実な持ち直しの動きを続けました。また、9月には4～6月期のGDPが上方修正されたほか、2020年オリンピックの東京開催も決定するなど、今後の経済成長に期待が集まりました。

当社の主要営業基盤である和歌山県や大阪府においても、経済対策の効果や輸出環境の改善などを背景に、企業収益は増益見通しであるほか、設備投資についても前年を上回る計画となるなど、徐々に持ち直しの動きに広がりが見られました。

このような状況の中で、当社グループは、お客さまから選ばれ続ける銀行を目指す方針のもと、お客さまの利便性向上に努めるとともに、より充実した金融商品、金融サービスの提供に注力し、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。

以上のような取り組みの結果、経常収益につきましては、役務取引等収益やその他経常収益が増加したものの、資金運用収益やその他業務収益が減少したことから、前年同期比7億34百万円減少の390億6百万円となりました。

一方、経常費用につきましては、資金調達費用やその他経常費用が減少したことなどから、前年同期比21億41百万円減少の302億68百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は、前年同期比14億7百万円増加の87億38百万円、連結中間純利益は前年同期比25億19百万円増加の65億63百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当中間期末における連結財政状態につきましては、総資産が3兆9,205億円、純資産が1,782億円となりました。

貸出金につきましては、前期末比17億円減少の2兆5,742億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、前期末比58億円増加の3兆5,863億円となりました。譲渡性預金が減少しておりますが、個人預金や法人預金は増加傾向を維持しております。

また、有価証券につきましては、前期末比1,216億円増加の1兆1,063億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

2. 中間連結財務諸表
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
現金預け金	188,043	125,093
コールローン及び買入手形	110,000	45,000
買入金銭債権	941	864
商品有価証券	1,415	1,531
有価証券	984,649	1,106,317
貸出金	2,575,933	2,574,211
外国為替	2,103	2,510
その他資産	28,738	28,671
有形固定資産	33,045	33,166
無形固定資産	10,940	10,557
繰延税金資産	5,592	4,319
支払承諾見返	13,467	12,615
貸倒引当金	△27,401	△24,264
資産の部合計	3,927,469	3,920,594
負債の部		
預金	3,532,474	3,560,120
譲渡性預金	48,042	26,205
債券貸借取引受入担保金	73,918	67,673
借入金	24,891	24,780
外国為替	11	20
社債	10,000	10,000
その他負債	32,900	39,772
退職給付引当金	31	32
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	732	661
偶発損失引当金	362	391
支払承諾	13,467	12,615
負債の部合計	3,736,865	3,742,307
純資産の部		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	47,947	29,872
利益剰余金	61,165	65,285
自己株式	△1,657	△1,524
株主資本合計	165,805	151,983
その他有価証券評価差額金	22,514	23,493
繰延ヘッジ損益	△134	85
その他の包括利益累計額合計	22,379	23,579
少数株主持分	2,418	2,724
純資産の部合計	190,604	178,287
負債及び純資産の部合計	3,927,469	3,920,594

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
経常収益	39,740	39,006
資金運用収益	28,225	27,345
(うち貸出金利息)	22,124	20,824
(うち有価証券利息配当金)	5,919	6,312
役務取引等収益	5,647	5,763
その他業務収益	4,478	2,529
その他経常収益	1,390	3,368
経常費用	32,409	30,268
資金調達費用	2,949	2,212
(うち預金利息)	2,319	1,630
役務取引等費用	1,999	2,014
その他業務費用	3,223	3,068
営業経費	20,633	20,931
その他経常費用	3,603	2,041
経常利益	7,331	8,738
特別利益	1	—
固定資産処分益	1	—
特別損失	43	42
固定資産処分損	13	8
減損損失	29	33
税金等調整前中間純利益	7,290	8,696
法人税、住民税及び事業税	496	989
法人税等調整額	2,672	1,103
法人税等合計	3,168	2,093
少数株主損益調整前中間純利益	4,121	6,602
少数株主利益	77	38
中間純利益	4,044	6,563

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	4,121	6,602
その他の包括利益	2,502	1,209
その他有価証券評価差額金	2,330	989
繰延ヘッジ損益	171	219
中間包括利益	6,623	7,811
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,547	7,763
少数株主に係る中間包括利益	76	48

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	58,350	58,350
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	58,350	58,350
資本剰余金		
当期首残高	64,605	47,947
当中間期変動額		
自己株式の処分	△2	26
自己株式の消却	△16,659	△18,101
当中間期変動額合計	△16,662	△18,075
当中間期末残高	47,942	29,872
利益剰余金		
当期首残高	45,748	61,165
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,044	6,563
当中間期変動額合計	1,335	4,119
当中間期末残高	47,084	65,285
自己株式		
当期首残高	△847	△1,657
当中間期変動額		
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	156	136
自己株式の消却	16,659	18,101
当中間期変動額合計	153	133
当中間期末残高	△693	△1,524
株主資本合計		
当期首残高	167,856	165,805
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,044	6,563
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	153	162
自己株式の消却	—	—
当中間期変動額合計	△15,173	△13,821
当中間期末残高	152,683	151,983

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	12,802	22,514
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,331	979
当中間期変動額合計	2,331	979
当中間期末残高	15,133	23,493
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	125	△134
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	171	219
当中間期変動額合計	171	219
当中間期末残高	297	85
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,928	22,379
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,502	1,199
当中間期変動額合計	2,502	1,199
当中間期末残高	15,430	23,579
少数株主持分		
当期首残高	2,249	2,418
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	72	305
当中間期変動額合計	72	305
当中間期末残高	2,321	2,724
純資産合計		
当期首残高	183,034	190,604
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,044	6,563
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	153	162
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,574	1,505
当中間期変動額合計	△12,598	△12,316
当中間期末残高	170,436	178,287

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当中間会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155	5,742
有価証券	4,000	—
その他	932	1,046
流動資産合計	6,088	6,788
固定資産		
有形固定資産	15	13
無形固定資産	2	1
投資その他の資産		
関係会社株式	115,728	99,493
投資その他の資産合計	115,728	99,493
固定資産合計	115,746	99,508
資産合計	121,834	106,297
負債の部		
流動負債		
リース債務	3	3
未払法人税等	9	7
その他	40	32
流動負債合計	52	43
固定負債		
長期借入金	386	214
リース債務	8	6
その他	17	13
固定負債合計	411	235
負債合計	464	278
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金		
資本準備金	47,044	27,724
その他資本剰余金	7,323	8,568
資本剰余金合計	54,367	36,292
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,309	12,900
利益剰余金合計	10,309	12,900
自己株式	△1,657	△1,524
株主資本合計	121,370	106,018
純資産合計	121,370	106,018
負債純資産合計	121,834	106,297

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業収益	3,447	3,200
営業費用		
販売費及び一般管理費	227	255
営業費用合計	227	255
営業利益	3,219	2,945
営業外収益	4	8
営業外費用	4	2
経常利益	3,219	2,951
特別利益	1,259	2,085
子会社株式売却益	1,259	2,085
特別損失	—	0
税引前中間純利益	4,479	5,036
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	1	1
中間純利益	4,477	5,034

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	58,350	58,350
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	58,350	58,350
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	47,044	47,044
当中間期変動額		
準備金から剰余金への振替	—	△19,320
当中間期変動額合計	—	△19,320
当中間期末残高	47,044	27,724
その他資本剰余金		
当期首残高	23,980	7,323
当中間期変動額		
準備金から剰余金への振替	—	19,320
自己株式の処分	△2	26
自己株式の消却	△16,659	△18,101
当中間期変動額合計	△16,662	1,244
当中間期末残高	7,318	8,568
資本剰余金合計		
当期首残高	71,025	54,367
当中間期変動額		
準備金から剰余金への振替	—	—
自己株式の処分	△2	26
自己株式の消却	△16,659	△18,101
当中間期変動額合計	△16,662	△18,075
当中間期末残高	54,362	36,292
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	8,644	10,309
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,477	5,034
当中間期変動額合計	1,769	2,590
当中間期末残高	10,413	12,900
自己株式		
当期首残高	△847	△1,657
当中間期変動額		
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	156	136
自己株式の消却	16,659	18,101
当中間期変動額合計	153	133
当中間期末残高	△693	△1,524

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
株主資本合計		
当期首残高	137,172	121,370
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,477	5,034
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	153	162
自己株式の消却	—	—
当中間期変動額合計	△14,739	△15,351
当中間期末残高	122,433	106,018
純資産合計		
当期首残高	137,172	121,370
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,708	△2,444
中間純利益	4,477	5,034
自己株式の取得	△16,662	△18,103
自己株式の処分	153	162
当中間期変動額合計	△14,739	△15,351
当中間期末残高	122,433	106,018

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。